

# 事業評価シート（平成26年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	ふれあいマーケット推進事業		
事業担当	産業振興部 産業振興課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'02	熟成 市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	'01	1 市民が身近に感じられ、生活に密着した産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民・生産者	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： ふれあいマーケット出店者会】		
	目的・目標		事業の概要
生産者と市民が直接ふれあうことにより、地場産品に対する理解が深まっています。		生産者と市民によるふれあいの場の創出や地場産業の振興を図るため、地場産品の販売拠点としてふれあいマーケットを開催します。	

## 2. 事業の検証

活動指標	指標名	ふれあいマーケット開催日数			単位	日
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	12	12	12	12	
	実績	12	10	12		
活動指標	指標名	参加店舗数			単位	店
	説明・算定式	年間延べ店舗数				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	300	300	300	300	
	実績	261	287	244		
成果指標	指標名	来場者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	8000	8500	8500	8500	
	実績	9000	4850	8550		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	：予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
平塚産の野菜や魚、湘南ひらつか名産品等の販売により、地場産品の普及・宣伝を行いました。また、広報方法を見直し、新規顧客の呼び込みを図りました。						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	早朝のイベントにも関わらず多くの市民が来場するため、必要性は高いです。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	生産者と市民がふれあい、地場産品の普及・宣伝を図ることができるイベントの実施は、市民に地場産品に対する理解を深めるため、有効です。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	イベントを通じて、生産者と市民がふれあい、地場産品の普及・宣伝が図られており、妥当性は高いです。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	出店者会との協働で事業を進めることにより、効率的な事業展開を図っています。	高中低
今後に向けた課題の分析		出店者会を支援し、来場者数増加策や出店者数増加のための方策を検討する必要があります。		

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		ふれあいマーケットの開催	ふれあいマーケットの開催	ふれあいマーケットの開催	ふれあいマーケットの開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0
執行率 (%)		-	-	-	

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針	新規出店店舗を募集するとともに、ふれあいマーケット出店者会と協働して、新規顧客の獲得へ向けた取組を進めます。
課長コメント	「湘南ひらつかふれあいマーケット」は、生産者と市民との交流の場となっており、地場産の農水産物だけでなく、名産品や各店舗の有力商品等の販売促進につながっていると考えます。また、出店者会が運営主体となっており、行政と市民との協働で行われているため、今後も継続すべき事業と考えています。